

国際的に有名なマリンバの巨匠、カタジーナ・ミチカ（1972年生）は、IKMMA（インターナショナル・カタジーナ・ミチカ・マリンバ・アカデミー）の創立者です。彼女は、グダニスク、シュトゥットガルト、ザルツブルクの3都市で何年にも渡って勉学に励み、それぞれの音楽院を首席で卒業しました。彼女が国際コンクールで多数の賞を受けてきたことは、アーティストとしての彼女の成長を如実に示しています。

カタジーナは1995年のルクセンブルク国際マリンバコンクールにおいて、優勝のみならず聴衆賞も獲得、また1996年の第一回シュトゥットガルト世界マリンバコンクールにおいても優勝を手に入れました。この二度にわたる国際マリンバコンクールでの優勝により、彼女は若くして音楽界の注目を浴びることになりました。

カタジーナはその他の打楽器コンクールでも好成績を収めており、1991年にはポーランド打楽器コンクールにおいて第一位を獲得、1992年のジュネーブ国際音楽コンクールでは、外国留学奨学金が与えられる特別賞を受賞しました。さらに1997年のミュンヘン国際ARDコンクールではファイナリストに選ばれました。

そして同年に、第一回世界マリンバフェスティバル大阪、また2004年のオーストリア・リンツ国際マリンバフェスティバルに、カタジーナはソリストとして出演し、また、2010年には、今日までにおいて最大規模のマリンバの祭典、ミネアポリス国際マリンバフェスティバルへも招待されました。

オーケストラとの共演も数多く、これまでにシュトゥットガルト・フィルハーモニック、ウィーン室内オーケストラ、北京交響楽団、ボーフム・シンフォニー、カメラータ・イスラエル、WKOハイルブロン、バンダービルト大学オーケストラ、そしてポーランドに存在する多くの交響楽団を含むさまざまなオーケストラと共に彼女はゲストソリストとして活躍しています。

1999年、カタジーナはポーランド国際打楽器芸術協会より「ポーランド打楽器芸術大使」という称号が授与されると、バーデンヴェルテンベルク芸術財団から奨学金が給付されたばかりか、彼女の元にはアメリカ、ドイツ、ポーランド、日本、中国、メキシコ、ルクセンブルク、ブルガリア、そしてスイスからコンサートの出演依頼やマスタークラスの開講依頼が次々とやってきました。また、カタジーナは1997年、ロサンジェルスのアナハイムにおいて開催された国際打楽器フェスティバルPASICでアメリカデビューを果たしました。また、2001年ナッシュビル、

2008年にオースティンでのPASICに再び招かれています。

その一方で、カタジーナは国際打楽器コンクールの審査員の要請を受け、下記のコンクールで審査員を務めました。

ルクセンブルク国際打楽器コンクール（1999年 2002年）、第一回ポーランドマリンバコンクール（2000年・ワルシャワ）、チェコ打楽器コンクール（2001年・オストラバ）、ドイツ青少年音楽コンクール（2004年 2007年）、国際打楽器コンクール(2005年 2007年 2009年・ブルガリア・プロブディフ)、リンツ国際マリンバコンクール（2006年・オーストリア・リンツ）

2009年には世界でも最も権威のあるコンクールの一つであるジュネーヴ国際コンクールの審査員としても招待された。

また、3年間に渡ってポーランド・ポズナニのパデレフスキ音楽院にてマリンバソリストディプロマクラスにて、ドイツ・マンハイム音楽院においても後進の指導にあたっていました。

これまでに以下のCDがリリースされています。

1997 “Katarzyna Myćka – Marimba Spiritual”

1999 “Katarzyna Myćka – Marimba Dance”

2001 “Katarzyna Myćka – Marimba Concerto”

2003 “Katarzyna Myćka – Marimba Sculpture”

2005 “Mycka/Bacanu - J. S. Bach – Marimba Concertos”

2008 “Katarzyna Myćka – Marimba Classica”